

6 福島県ハイテクプラザの概要

6-1 沿革(1)

- 明治34年 4月 信夫郡渡利村に生糸織物試験場を設立
- 明治35年 3月 福島県工業試験場と改称
- 大正11年 4月 岩瀬郡須賀川町に福島県醸造試験場を設立。同年10月伊達郡川俣町に福島県工業試験場川俣分場を設置
- 昭和3年 2月 会津若松市県立工業学校内に漆器木地・木工部からなる福島県漆器工芸研究所を設置。同5年4月同研究所を福島県工業試験場会津分場と改称し、醸造・染織・図案・漆工部を増設。同時に福島県醸造試験場を廃止
- 昭和8年 4月 福島県工業試験場を廃止し、会津分場を福島県会津工業試験場に、川俣分場を福島県川俣試験場に改称
- 昭和10年 4月 川俣試験場に図案部を併設
- 昭和11年 4月 大沼郡本郷町に会津工業試験場窯業部を設置
- 昭和19年 4月 川俣試験場を福島県川俣工業指導研究所と改称し図案部を廃止、会津工業試験場から染織部を施設合併する。
また、会津工業試験場を福島県会津工業研究所と改称し、漆工・木工・窯業醸造・図案部を設置
- 昭和21年 1月 福島市に福島県工業試験場を設立。同年3月福島県川俣工業指導研究所を福島県工業試験場川俣分場と改称。同年4月福島県会津工業研究所を福島県工業試験場会津分場と改称
- 昭和22年 3月 福島県工業試験場会津分場の窯業部を福島県窯業試験場として大沼郡本郷町に分離独立
- 昭和22年 4月 福島県工業試験場会津分場を福島県会津工業試験場と改称、漆工・木工・醸造・図案部を設置
- 昭和23年 3月 福島県工業試験場を工芸指導所と改称。同時に川俣分場を福島県川俣染織試験場と改称
- 昭和24年 3月 福島県工芸指導所を廃止、窯業試験場を陶業試験場と改称。同年4月福島市栄町に福島県機械工業指導所の仮事務所を設置。10月同市三河南町に機械工業指導所の庁舎を建築完成。同年7月川俣染織試験場を染織試験場に、会津工業試験場を工芸試験場にそれぞれ改称
- 昭和25年 4月 陶業試験場相馬分場を相馬郡浪江町に設置
- 昭和25年 6月 機械工業指導所の鋳物工場増設。翌年6月機械工場増設
- 昭和28年11月 工芸試験場醸造部を福島県醸造試験場として独立
- 昭和31年 6月 陶業試験場・陶業試験場相馬分場を工芸試験場に統合
- 昭和34年 4月 染織試験場を繊維工業試験場と改称。12月同場本館新築落成。同37年6月同場実験棟・研究室棟新築落成
- 昭和44年 4月 会津若松市門田町に、工芸試験場の新庁舎完成移転。翌年4月醸造試験場同地に移転
- 昭和45年 3月 福島市佐倉下(現在地)に、機械工業指導所の新庁舎完成移転。同年11月繊維工業試験場同地に移転
- 昭和45年 4月 福島県工芸試験場と福島県醸造試験場を併合、機構を改め、福島県会津若松工業試験場と改称
- 昭和45年12月 福島県機械工業指導所と福島県繊維工業試験場を併合し、機構を改め、福島県福島工業試験場と改称
- 昭和48年 4月 福島工業試験場に技術情報室および会津若松工業試験場に同分室を設置
- 昭和49年 7月 福島工業試験場に溶接実験棟増設
- 昭和50年 3月 会津若松工業試験場に食品加工開放試験室増設
- 昭和53年 3月 会津若松工業試験場に合成樹脂開放試験室増設
- 昭和54年12月 会津若松工業試験場に窯業開放試験室増設
- 昭和55年 4月 技術情報室を廃止し、福島工業試験場に企画情報部を設置、会津若松工業試験場に工芸部デザイン科を設置
- 昭和58年 4月 いわき市常磐に福島県いわき工業試験場を設立。福島工業試験場に機械金属部先導的技術指導研究班を設置。翌年4月同班を改め応用電子科を設置
- 昭和60年 4月 福島工業試験場機械金属部・化学部を改め機械電子部・工業材料部に、金属材料科を改め金属科に改称
- 昭和62年 3月 会津若松工業試験場に合成樹脂開放試験室増設
- 平成4年 4月 郡山市片平町に福島県ハイテクプラザを設立。同時に3工業試験場の機構を改め、それぞれ福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター、同会津若松技術支援センター、同いわき技術支援センターと改称
- 平成6年 4月 福島県ハイテクプラザ応用技術部に微生物応用科を設置
- 平成13年 4月 会津若松市一箕町(現在地)に福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターの新庁舎完成移転
- 平成16年 4月 福島県ハイテクプラザ、各技術支援センターの部科制を廃止し、グループ制組織に移行
- 平成20年 4月 福島県ハイテクプラザ、各技術支援センターのグループ制を廃止し、部科制に移行
- 平成21年 4月 福島県ハイテクプラザ企画支援部を改め企画連携部に、研究開発部を改め技術開発部に、連携支援科を改め産学連携科に改称。技術開発部にプロジェクト研究科を設置
- 平成22年 4月 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターに、県産品加工支援センターを設置
- 令和元年 7月 南相馬市原町区に福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センターを設置
- 令和4年 4月 福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター、同いわき技術支援センターを福島県ハイテクプラザに統合。同時に福島県ハイテクプラザの組織を改め、企画管理科を企画科と管理課に分離し改称。技術開発部を廃止し、材料技術部と電子・機械技術部を設置。材料技術部に金属・物性科、分析・化学科、繊維・高分子科を、電子・機械技術部に電子・情報科、機械・加工科、ロボット・制御科を設置